

第109号
2012年9月1日発行

愛道

あいどう



テーマ「みのり」

社会福祉法人 足羽福祉会

<http://www.asuwafukushikai.jp/>

愛全園

新館竣工にあたり

理事長 高村 昌裕

本年5月に特別養護老人ホーム愛全園の増改築工事（第一期）が竣工しました。この工事は、昭和54年に建設した愛全園の建物の老朽化について耐震工事の必要性が生じたことを発端として、福井県高齢者福祉施設耐震化促進事業の助成を受けて行いました。

増築した新館建設にあたっては、地主の皆様をはじめ地元の皆様から「愛全園ならいいですよ」と土地



落成式(平24. 5. 22 コミュニティホール)

の利用についてご快諾をいただけたことに、愛全園がこれまで地域の方々とのつながりを大切にしてきた積み重ねが実ったのかと大変うれしく感じた次第です。この場をお借りして、改めて地元の皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします。



温かみのあるユニットフロア



また施工業者や設計士には数十回にわたる綿密な打ち合わせを重ねながら、われわれ現場職員の「思い」を「形」へと昇華していただきました。冬期の天候不順

や震災後の復興需要による資材不足など工事は困難を極めました。関係業者の皆様のご助力のおかげをもちまして、大幅な遅滞なく

順調に進められ、ふるさと山並みや田畑を眺望できる、明るく安らぎのある居住空間として完成しました。

あわせて介護職員の腰痛対策として移乗リフトの設置や災害時の地域福祉避難拠点として緊急時対応の発電機も設置しました。

この建物を最大限に活用して、愛全園は新たな一歩を踏み出すことができます。ユニットケアの実践として利用者の方一人ひとりに合った暮らしのサポートを行い、これまでの生活との継続性を保ちながら「生きいきと、わがままに、安心して」過ごせる「わが家」となるよう職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

6月からの第二期工事では本館部分の耐震補強工事を行いながら、在宅サービスの充実や法人内託児所の設置を進め、完成は11月の予定です。

足羽福祉会では、今後ともよりいっそう地域社会にすべての施設・事業所を開放し、皆様にとって役立つ社会資源として活用いただけるよう運営してまいります。どうか変わらぬご支援とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



個室ユニット型特養6ユニット60床、従来型特養30床、短期入所12床

みのりの秋 特集 ダイジェスト

みのりの秋。各施設から「食欲」「スポーツ」「芸術(文化)」それぞれの秋のひとコマをご紹介します。



足羽東保育園

何ができるかな？
いい匂い～

足羽ワークセンター

しっかり構えてフォームの確認！さあ、ホワイトシャーク！ウイングカップソフトボール大会にいざ出陣☆



愛全園

ご希望外出！
さて、どこに行きましょう☆



続きは
16ページを
ご覧ください

目次 もくじ

- | | | | |
|----|---|----|------------|
| 2 | 愛全園新館竣工にあたり | 16 | みのりの秋特集 |
| 3 | 目次・みのりの秋特集ダイジェスト | 17 | 平成23年度決算報告 |
| 4 | 安全力の育成
～ケガを繰り返すAちゃん～
足羽東保育園 | 18 | 愛のささえ |
| 6 | 環境の変化とまなざし
足羽学園 | | |
| 8 | ふみ出す！第一歩！！
～ケアホームとうごうでの新しい生活～
足羽更生園 | | |
| 10 | ありのままの思いからわかること
足羽ワークセンター | | |
| 12 | 思いやりを形に
愛全園 | | |
| 14 | 口の体操でムセずにおいしく
足羽利生苑 | | |



「表紙について」

足羽山公園での
ベストショットです♪
秋ですね～

皆さんもお弁当を持って
お出かけしませんか

(足羽更生園 宮下望)

安全力の育成

ケガを繰り返す Aちゃん

原因は何なのか？

保育園での生活も長いAちゃん。しかし、なぜAちゃんだけが繰り返し転んだりケガをしたりするのか？

保育園側

- 危険を予測する力不足。
- 日常の環境構成が整っていない。

- 安全配慮に対しての意識が低い。

Aちゃん自身

いったいケガの原因は何なのか？
 ”ケガを未然に防ぎ、Aちゃん自身の安全力を高めたい“と全職員で願いをもち、保育園側とAちゃん自身に考えられる要因を考察し、改善に取り組みました。

- 朝起きれないのか、登園が遅く、午前中は元気がない。
- 友だちとの関係が上手くいかず、トラブルになることがある。
- 注意力に欠け、散漫になることがある。

春 力をつけるために

Aちゃん自身の安全力を高めるために、3点をポイントに取り組むこととしました。(※図)

- ① 危険を予測したうえで遊びの環境と人的環境を整えていくべき。

- ② 注意力や周りを見る力が育つよう、鬼ごっこやチャンバラ遊びを多く取り入れてはどうか。

- ③ 危険な行動がみられたときは行動のあとの結果がどうなるかについて話し合い、子ども自らが危険に気づけるようにしていこう。

この課題に対し、毎月検討を重ね合い、実践に向けていきました。

安全力育成のための3つのポイント(※図)

★ケース会議

- ・担任だけでなく、全職員が行動観察記録を持ち寄り検討しあう

★保育環境の見直し

- ・人的(職員)のかかわり、物的環境が、年齢に応じたふさわしい環境であるか

★保護者支援

- ・当園の方針を理解していただく
- ・保育園での様子や成長を知らせ連携を深める
- ・家庭状況を把握し支援する

保育士の葛藤

Aちゃんを継続してみている中で「Aちゃんに力をつけたい」という思いがある。しかし「ケガをさせたくない」という思いの方が強くなり、保育士の皆が危険面ばかりに目がいき、行動をすぐに制止したり注意したりすることが増えてきた。「Aちゃん＝危険な子」の固定概念を抱いてしまっているのは信頼関係ができず、保育士の言葉にも耳を傾けてくれない。

Aちゃんの良い姿を確実にとらえ、認め、皆の前で褒めることを増やしていこう。そうすることで保育士や友だちとの関係も深まり、Aちゃんの力にもつながるのではないか。



夏

Aちゃんの転機

保護者の方に保育園でのAちゃんの姿を知らせ、登園を早めていただくよう伝えました。ラジオ体操に参加するようになったこともあり登園が早くなり、活発な姿や友だちとの関係も深まっています。

園庭の固定遊具には興味が薄く、遊んでもすぐに飽きて転々としていたAちゃんでしたが、ある日登り棒で、友だちが滑り落ちてても何度も挑戦する姿をじつと見て「Aもできるよ」と挑戦し、みるみる内に中間地点まで登ることができました。「Aちゃん凄い。登るのが早い！」と保育士や友だちも感動しました。「できるよ。簡単だよ」と得意気なAちゃん。登り棒に成功したこと、皆の前で褒められたことが自信となり、意欲的に繰り返し挑戦するようになりまし

た。このことがAちゃんの転機になったようで、さまざまな運動遊びに取り組みようになりました。



登り棒の競争をする子どもたち

秋

Aちゃんの実り

鬼ごっこやチャンバラ遊びを意図的に取り入れ、楽しむ中でときにケガにつながったこともありましたが、しかし、その体験からも多くの学びがあり、体験を通して機敏な身のこなしや注意力が身についていき、ぶつかるとどうなる？」「ケガする！」「ぶつからないためにはどうする？」「歩く！」

廊下をスピードをつけて走るAちゃん ～保育士とAちゃんのやりとり～

「Aちゃん廊下はどうやって行くの？」
『歩く！』

「なんで歩くの？」
『ん～…ぶつかるで？』

「走るとどうしてぶつかるのかな？」
『ん～…危ないから？』

「すぐ止まれないとぶつかって危ないね。ぶつかるとうなる？」

『ケガする！』

「ぶつからないためにはどうする？」「歩く！」

**自らが危険に気づけるような
声かけで再確認！**

険行動が見られたときは、すぐに声かけを行っていたり、起こりうるケガを子どもたちと話し合ったりしたこと、自らが危険に気づいてやめることも出てきました。

全職員が「Aちゃんに力をつけたい」と願いをもち、かわってきたことがAちゃんの成長と一致し、危険を察知する力につながり出しました。

子どもは、これから多くの体験を通して、ときにはケガをしながら、さらに安全力を伸ばしていきます。子どもたちの将来を見据え、子ども自身が心と体で安全力を身につけていくような環境を整えていくことが必要だと実感しました。

みんなの広場

毎月1回、習字の先生を招き、5歳児が平仮名のきれいな書き方や書き順、毛筆を習っています。



一人ひとり丁寧に教えてくださいます

〈宮川定幸先生から〉

子どもたちに字を教えていると、いつも無邪気に笑顔で答えてくれます。無心に取り組む姿に接し、かつて教職であった若いころの自分を思い出し、こちらが学ばせてもらう次第です。今後も、頑張り屋の子どものうちのわすかでも手助けになればな一と思いつつの日々…



宮川先生の作品(墨絵)

環境の変化とまなざし

平成24年4月1日、足羽学園から4名の利用者の方それぞれ足羽ワークセンター、足羽更生園へと移行されました。

4月から数か月が経ち、移行された利用者の方ほどのような日々を過ごされているのでしょうか。

今回は足羽ワークセンターへ移行された、加藤研斗さんの様子をご紹介します。



養護学校の卒業式

生活面

加藤さんは『ケアホームあすわ』にて生活をされています。元氣よく作業から帰って来られた加藤さん。その表情から、毎日がとても充実している様子が見受けられました。

加藤さんの部屋にも案内していただきました。足羽学園に在園していたころを思い出し、どこか懐かしさを覚えました。

足羽学園在園時は、職員のお手伝いや年下の利用者



しわを伸ばして干します

の方に、お兄さんのようなかわりをされている姿が見られていました。『ケアホームあすわ』では職員、他の利用者の方とどのようなかわり、生活されているのでしょうか。足羽ワークセンターの職員に話を伺いました。

『ケアホームあすわ』へ移行された当初は、緊張からか、職員や世話人にびつたりとくっついていいることが多かったです。しかし、面倒見のよい先輩利用者の方から声をかけられることが増



足羽学園の職員と、久しぶりの再会

え、今では少しずつ慣れてきたようです。掃除当番を積極的にされている姿も見られるようになりました。

(上野副主任)

引っ込み思案な部分はまだ見られていますが、変わらず元氣にしています。洗濯もしっかりできていますよ。

(吉野支援員)

先輩利用者の方や職員とのやりとりの中で、加藤さんの笑顔がとても素敵でした。

作業面

加藤さんは足羽ワークセンターの作業場『かがやき』で作業をされています。この日は、キッチン整理箱の作業を行っています。作業に取り組む加藤さんの表情は、真剣そのもの。

『かがやき』のリーダー職員である、加藤支援員に話を伺いました。

当初はとても緊張していたようで、職員との会話のやりとりも心もとない様子でした。作業に取り組む姿勢は頑張り屋で、とても丁寧に作業をしてくださっています。少し難しいかなと思うような作業でも、方法を伝えると、コツコツと取り組み、方法を覚えてからペースを落とさず、集中して取り組んでいます。



丁寧にラベルを貼っていきます

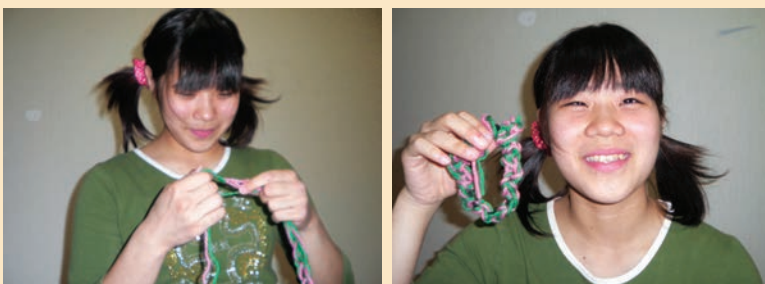
加藤さんは養護学校のと看から、足羽ワークセンターで現場実習を行っていました。しかし、ケアホームでの生活の経験はなく、当初は不安や緊張を抱えていたと思います。しかし、わずか数か月でにこやかな笑顔や真剣なまなざしを見せ、足羽ワークセンターの方から「とても生きいきしている」との言葉をいただき、とてもうれしく感じました。足羽学園に在園していたころでは知り得なかった表情。今後も足羽学園を巣立っていく利用者の方の姿勢や変化を、いつまでも見守り続けていきます。

たのしい
ワークセンター
かがやきで
ラベルはりをしています
そうじをがんばりたいです
なつまつりが
たのしみです
加藤 拓斗

加藤さんからのコメント

みんなの広場

明るい笑顔が印象的なHさん。『毛糸のシュシュ』作りが得意です。「何色がいい?」と、足羽学園の女子利用者の方や女子職員にリクエストを聞き、可愛らしいシュシュをプレゼントしてくれる優しさも素敵です。




髪ゴムの周りに2色の毛糸を複雑に編んで完成♪

ふみ出す！ 第一歩！！

ケアホームとうごうでの新しい生活

平成24年3月1日、重度の知的障がい者の方が地域でも安心して暮らすことができる生活の場として「ケアホームとうごう」（以下、「とうごう」）が開所しました。今回はとうごうが開所に至るまで、そして今の利用者の方の様子をご紹介します。



ケアホーム とうごう

場所: 福井市東郷 JR越前東郷駅の目の前
 建物: テナントビルの3階部分
 定員: 10名(男性利用者の方)
 職員: 5名(交代制)
 居間: 畳の間があり、冬になるとこたつを出して
 アットホームな空間

※日中は、生活介護事業として足羽更生園の「羽生の郷」などの作業に参加。
 ※緊急時対応は、足羽更生園がバックアップを行う体制をとっている。

「来たんか。こっちこっち」

取材した職員がとうごうに行くくと、利用者の方は温かく迎えてくださいます。「見せてみて」と自慢の部屋を見せたくて、職員の手をひっぱり案内してくださいます。ご家族の方からも「久しぶりにこんな楽しそうにしている表情を見た」など、とうごうでの新しい生活は大変喜ばれています。

とうごう誕生！

現在、足羽更生園の10名の男性利用者の方が、住まいをとうごうに変えて生活を始めました。

足羽更生園にとって、ケアホーム事業は初めてということもあり、開所前の準備段

階では職員も手探り状況の中での取り組みでした。利用者の方に『ケアホームとはなんぞや？』というところからの始まりで、写真やイラストを使用して地域で生活をイメージを一緒に考えながら伝えていきました。

ご家族から「環境が変わることでは本人たちの大きな負担にならないでしょうか」「発熱やインフルエンザなどのときの職員体制はどうでしょうか」など、さまざまな意見も出てきました。その不安を解消するため、ご家族や利用者の方に向けた説明会や建物見学会を行い、定期的に話し合う場を設けました。

また、とうごうの職員を固定化することで、利用者の方のより細かい気づきに配慮できる環境にするなど、具体的な事柄も決まりました。

とうごうに

行きたい

平成24年1月に入ると、入居希望の利用者の方対象



東郷地区運動会
地域の方と同じテントの下で昼食中



お部屋にて...
自慢のコレクションと共になっこり



グリーンセンター外出
初めて見た！バナナの木

みんなの広場

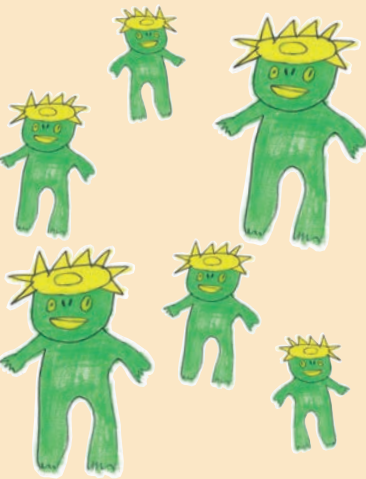
「カッパのマンガ」は愛道で平成15年～18年に連載されてきました。今回、復刻版として戻ってきました！！



自分で布団を畳みます



昼ご飯は何にしようかな～



に、とうとう宿泊体験を行いました。体験を重ねるごとに利用者の方が抱いていた不安や緊張が、期待や希望へと変化していく様子が表情や言動から感じられました。

建物見学会ではどの利用者の方も興味深く探索して、早くから自分の部屋を決めている方もいました。

田中義則さんは体験や見学を通して、作業や職員のお手伝いをこれまで以上に意欲的に取り組むようになりました。ときどき、職員に「あと何日でとうとうや」と、とうとうへの生活を心待ちにするなど、心身ともに十分に準備を整えてから新

しい生活をスタートさせました。

ぼくも地域で生活したい

平成24年4月14日、地域代表の方や大家さんも交えて、とうとう開所パーティーが開かれました。その中で利用者の方が、これからの夢を語る場面がありました。その姿はとても堂々としていて職員も家族のような心境で、胸が熱くなりました。

「羽生の郷での作業を頑張ります」

「毎日部屋掃除をします」

その言葉通り、作業活動や部屋掃除を頑張って取り組まれています。

また週末になると、皆で昼食の材料をスーパーに買に行ったり、公園を掃除したり、映画鑑賞するなど一人ひとりが充実した時間を過ごしています。

その様子を見ている足羽更生園の利用者の方も「地域で生活をした」という夢をもつ方が増え、次のケアホームを心待ちにされています。

家族の声

・「やりたい」「行きたい」など意欲的な言葉が増え、うれしく思います。

・本人が穏やかに過ごしている姿に安心します。

ケアホームとうとう職員

とうとうでは、利用者の方が穏やかにのびのびと生活できるよう、家庭的な空間づくりを目指しています。

今後は、季節に合った行事、バーベキュー、芸術鑑賞などいろいろなることを催していきたいです。地域行事や社会奉仕などにも参加をして、地域の方との交流を深めていきたいと思えます。

これからも細かい気配り、目配りを大切にして、利用者の方の笑顔があふれる支援をスタッフ一同、気持ち合わせて取り組んでいきたいと思えます。

中川 和典



昼食時はスタッフの方とともに、わきあいあいと過ごされています

ありのままの思いから わかること

Tさん(女性25歳)は、養護学校を卒業してから、足羽ワークセンターを利用して24年4月1日に、ツクイ福井森田(デイサービスセンター)に清掃員として雇用されました。

現在、障がいのある方の雇用を積極的に進めている会社が増えつつありますが、ツクイ福井森田では今回の雇用についてどのような思いをもっておられるのか、管理者である齋藤様にインタビューを行ってきました。

雇用を行うきっかけは何でしたか？

ここ森田事業所では、清掃の部分で業務にかなり時間がかかっている、スタッフの負担が非常に多い現状がありました。また会社独自で、障がいのある方の人件費を本社が負担する制度があり、現場の現状と制度をすり合わせた結果、障がいのある方を雇用しようと考えました。

実習の受け入れ前、雇用を進めるにあたって何か思いはありましたか？

週1回のお風呂掃除のみの実習を始める前は、スタッフから『障がいのある方とどうかわかっていけばいいか』という声も聞かれました。

しかし、足羽ワークセンター支援職員の方(以下支援職員)が付き添って入って下さり、Tさん自身も丁



汗だくになりながらもせっせとお風呂掃除

寧に掃除をしている姿が見られましたし、スタッフの清掃業務の中でお風呂掃除が一番時間がかかっていたので、こちらとしてはとても助かる部分の方が多かったです。

雇用に向けて、平日一日清掃業務を行っていた際も、支援職員の方が丁寧に見て下さっていたので安心でした。お風呂掃除以外にも、玄関やトイレ、フロア等の清掃も組み込んでいただいたので、清掃業務は少しずつTさんに任せられる仕事になっていきました。

現在のTさんの 仕事ぶりはどうですか？

今になってわかるのですが、毎回支援に入って下さったときと、現在月1・2回の訪問とを比べると、慣れしてきたせいか、周りに気を取られながら仕事をする姿が多く見られるようになりました。また、実習のときから使っている掃除のチェック表を継続して使用してもらっているのですが、

チェックに漏れがあったり、提出し忘れてしまったりするときがあります。その都度しっかりと本人に伝えていくのですが、最近指摘する頻度が少し増えてきているかなと感じることがあります。

こちらとしては、Tさんを障がいのある方としてではなく、一職員としてみていけるので『できること・やらなければいけないこと』はしっかりと伝えていかなければ

ならないと思いますし、実際本人にもきちんと伝えていきます。Tさんも、注意されたことについてしっかりとやってくれますし、次の日も気をつけてやろうとする姿が見られるので、継続して伝えていく必要がありますのだと感じています。

また、これからも定期的な支援職員の方に訪問していただき、掃除のものがなにかどうかや本人が集中して仕事に取り組んでもらえるよう支援して

いただきたいと思います。

いつもと違う業務を頼んでも、一生懸命やろうとしてくれる姿が見られるので、Tさんが頑張っている姿をみると私たちスタッフも『頑張らないと！』という気持ちになります。

最初のころは、Tさん自ら話すこと

はあまりなく、とても緊張している姿が見られました。が、今は昼食時、スタッフとTさんが雰囲気よく話している姿が見られるので、今後も一職員として頑張っていたいただきたいと思っています。

今回のインタビューを通して、事業主の方の率直な思いを知ることができました。

就職して支援が終わるのではなく、継続して就職後のケアを定期的に行っていく必要性を改めて感じました。

Tさん自身、今後もさまざまな課題に立ち向かわなければならぬことがあると思います。Tさんが、たくましさをも身につけ、自分自身で乗り越えていけるよう、今後も関係者の方と連携してサポートしていきます。

みんなの広場

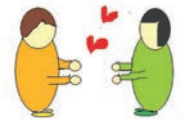
今までフレンピック大会は知的、身体、精神の障がいの種類別に個別に行われていました。それが、今大会は障がい者スポーツにかかわる人たちの交流を深めようと、各障がい者が合同で行う初の全県統一大会となりました。

足羽ワークセンターから出場した90名余りの選手は、ほぼ全員が競技を棄権することなく参加できました。そして、優秀な成績を収め金メダルを職員に見せにきてくれた方、残念ながら自分の思いに届かない結果になったことを「くやしい」とつぶやかれた方など、さまざまな思いを選手の方は感じていました。



女子400mリレーを全力疾走するCさん

思いやりを形に



最近よく目にする「接遇」という言葉。皆さんはどんな意味かご存じですか？

言葉だけを聞くと難しいですが、次のような意味があります。

「接遇」とは、相手をもてなす、思いやりの心をもって対応するということです。「不快な思いをさせない、安心感をもつていただく、笑顔で帰っていただく」というように、思いやり・いたわりの心が形になったものです。

これは職員から利用者の方に向けての心だけでなく、職員同士にもかわる言葉です。今回は、いち早く接遇を取り入れた愛全園としての接遇をご紹介します。

接遇委員会



接遇委員会では『接遇に関して気づきの場を与え、業務の中でお互いにレベルアップができる環境を作る』ということを目標にしています。

その中でも『どうすることによって、職員に接遇を身近に感じてもらうか』ということに重点を置き、話し合いが行われています。

グッドネス報告

園内には匿名で他の職員の良い所を投稿する場所があり、ここではふだん、面と向かって言えない職員への思いを素直に書くことができます。

このような言葉が書かれていると「みんな見ている」と

明るく元気な声での「おはようございます！」のあいさつ。
1日のスタートが気持ちよく心地いいです。
林課長 ありがとうございます。

くれている」「あいさつがみんなを気持ちよくさせているんだ！」とうれしい気持ちになります。他の職員には「自分もやってみよう！」と思える言葉です。

ここに書かれている林課長は来園者の方、職員に会うと必ず足を止め、身体を向け、相手の目を見て「おはようございます」とあいさつされます。言われる側はとても気持ち良くなります。皆さんも相手の良い気分にできる手本のようなあいさつがしたいと思いませんか？

グッドネス

こんな投稿もあります☆



草香さんから
「この人達は、笑顔であいさつをしてくれるので私もうれしくなりまわ」と言っていました。

心の伝わる「挨拶」
・身体をのぞき 目を見て
・声は 明るく 元気に
・笑顔で
・礼。 自分から 挨拶をしよう

環境が変わり
様になった毎日ですが、
廊下や車庫前などで、
笑顔で あいさつ をして下さる
職員の方々に、元気を
もらっています。

宇野彰子さん
どんな相手にも
丁寧な言葉、物腰で
接して下さる。
いつも、ごわやかな
気持ちにして頂いています。

口の体操で ムセずにおいしく

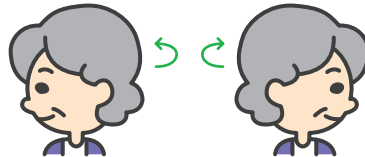
高齢になると飲みこむ力が衰え、食事の際にムセたり誤嚥ごえんしやすくなったりします。ムセや誤嚥により肺炎になることもあるため、足羽利生苑ではムセやすい方や飲みこみが難しい方に対して、どうすればムセずに食事できるかを考え支援してきました。

平成24年1月には、福井県済生会病院リハビリセンターから専門スタッフにお越しいただき、ムセやすい方を対象に食事の際の姿勢や介助面でのアドバイスをいただき、支援に反映してきました。また看護部では、飲みこみの状況を嘱託医と共に2週間おきに確認し経過を見ています。そのような支援の中でムセの改善が見られたAさんの事例をご紹介します。

<ムセ改善のための口の体操>

①首の体操

首を前後左右に動かします。



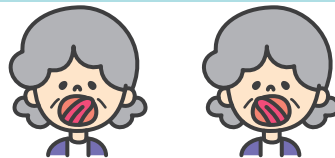
②ほおの体操

ほおを膨らませたりすぼめたりします。口のまわり、のどの筋肉が鍛えられます。



③舌の体操

舌を出し、前後左右上下に動かします。舌を大きく動かす力がつくと、口の中の食べ物をまとめ、のどに送り込むことがうまくできるようになります。



④発声練習「パ」「タ」「カ」「ラ」と発音します。

「パタカラ発音」はくちびるや舌の動きをよくします。大きな声を出す力がつくと、食べ物を誤嚥しかけたときに外に出す力が強くなります。



※参考文献 JA福井県厚生連ホームページ

口の体操で ムセを改善

Aさん(81歳・男性)は、お茶や汁物を飲まれた際にムセることがありました。

ムセないように、水分にはとろみをつけ、調整していきましました。また入所前からムセの改善のために口の体操に取り組みまれており、当苑でも引き続き行うことになりました。

職員が「ご飯がおいしく食べられるように運動しましょう」と声をかけるとAさんはうなずき、口の体操に参加されました。そしてAさんへの声かけを多く行い、話す機会が増えるようにかかわっていきましました。口の体操を実際に始めてみると、一対一で行うことがAさんにとって恥ずかしかったのか、声を出す練習では声が小さく、動作も小さい様子でした。また体操の声かけをしても、Aさん

は照れ笑いをされるだけで、体操を拒むときもありました。

皆さんと一緒に体操を

何かいい方法はないか。職員間で話し合いがもたれました。そこで出たのが、他の利用者の方も含めて昼食の前に体操を行ってみてはどうかというアイディアです。

他の利用者の方数名と行うことでAさんも体操しやすいのではないかと。さらには利用者の方皆さんのムセの予防や飲みこむ力を維持することができるとはいかという思いがあつたからです。耳が遠い方でも参加しやすいように、大きく紙に体操の内容を記載し、目的を説明しながら行い、意識をもつて取り組めるように配慮しました。またAさんが声を出しやすいように職

員が近くで声かけしながら体操を行うようにしました。

さつそくAさんを含め、他の利用者の方と一緒に口の体操を行うと、皆さんの影響もあつたのか、Aさんは自然と大きな声を出され、動作も大きくなりました。その後も拒まれることなく、口の体操に参加されるようになりました。

また体操以外でもムセを改善するために、椅子の変更を行いました。



左手前がAさんです



日々の継続により

継続したかわりにより、Aさんは食事の際にムセることが以前と比べて少なくなってきました。

また、口数が少なかったAさんでしたが、職員とのかかわりの中で、声を出して返答されることが多くなるといふ変化も見られました。ときには職員が声をかけると、笑顔で若いころの話をされることもあり



好みの花札をされながら昔のことを話されているところです

Aさんへのかかわりを積み重ねることでAさん自身の力が少しずつ大きくなっていきました。

今後もAさんを含め、利用者の方一人ひとりに合ったかわりを継続することにより、ムセや誤嚥を予防し、いつまでもおいしく口から食事ができ、楽しみのある生活が送れるようになることを目指して取り組んでいきます。

みんなの広場

青春の記憶

～女性職員Cさん～

私がまだぴちぴちの19歳で足羽利生苑に勤める前、仕事も遊びも一生懸命でした。仕事が終わると外食に行き、カラオケ、パチンコ、飲み会、ディスコ：と朝まで遊び、寝ずに仕事に行く生活を続けていました。気づけば10日間寝ずに過ごしていたことも(笑)。

そんなある日、二週間の連休が終わり、いつも通り職場に行き、制服を着ようと思ったら：小さすぎて全く入らない！

私「誰かあたしの制服知らな〜い？」

同僚「え？どなた様ですか？」
そうなんです！不規則な生活と暴飲暴食を繰り返していたら、自分でも気づかないうちに20kg太り、制服のサイズも9号↓15号へ！
あのときのすごい衝撃は今でも忘れられません(笑)。

みのりの秋 特集



足羽東保育園

正解は、子どもたちが大好きなメニューNo.1『ハヤシライス!!』
「アツアツでおいしい♪」



足羽学園

毎月開催されるお誕生会では、調理員さん渾身の手作りおやつでお祝いします。このときのメニューはチョコレートパフェ。みんなパクパクと笑顔で食べ進めていました。



足羽利生苑 デイサービス運動会



足羽利生苑

毎年熱戦になるパン食い競争!!



職員も参戦!!



足羽ワークセンター

な、なんと! B2グループで見事優勝しました!!
表彰後、全員気分は最高潮でした☆



足羽更生園

皆さん、今年の夏はどうでしたか?
足羽更生園の夏季クラブ作品展示会のテーマは「夏」でした。どの利用者の方の作品も個性豊かで、それぞれに楽しかった夏を物語っているようです。



愛全園

正解は図書館でした。
本を読むのが好きなKさん。
この日は朝からニコニコで待ち遠しい様子でした。



平成23年度社会福祉法人足羽福祉会の財務諸表を公開します。

平成24年5月22日開催の理事会・評議員会に承認されたものを簡略化した内容となっております。

貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

科目	金額(千円)	科目	金額(千円)
資産の部		負債の部	
流動資産	1,395,481	流動負債	354,775
固定資産	2,662,427	固定負債	403,218
基本財産	1,568,862	負債の部合計	757,993
その他の固定資産	1,093,565	純資産の部	
		基本金	155,158
		国庫補助金等特別積立金	851,379
		その他の積立金	99,235
		次期繰越活動収支差額	2,194,144
		(うち当期活動収支差額)	(166,793)
		純資産の部合計	3,299,915
資産の部合計	4,057,908	負債及び純資産の部合計	4,057,908

脚注1.減価償却費の累計額 1,899,370(千円)

事業活動収支計算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

科目	金額(千円)
就労支援事業活動収入	84,284
就労支援事業活動支出	84,143
就労支援事業活動収支差額	141
福祉事業活動収入	2,153,792
福祉事業活動支出	1,990,857
福祉事業活動収支差額	162,935
事業活動外収入	213,176
事業活動外支出	212,102
事業活動外収支差額	1,074
経常収支差額	164,150
特別収入	163,427
特別支出	160,784
特別収支差額	2,643
当期活動収支差額	166,793
前期末繰越活動収支差額	1,892,200
当期末繰越活動収支差額	2,058,993
その他の積立金取崩額	178,151
その他の積立金積立額	43,000
次期繰越活動収支差額	2,194,144

資金収支計算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

科目	金額(千円)
就労支援事業収入	81,728
就労支援事業支出	79,754
就労支援事業活動資金収支差額	1,974
経常収入	2,160,091
経常支出	1,998,249
経常収支差額	161,842
施設整備等収入	162,506
施設整備等支出	730,442
施設整備等資金収支差額	△567,936
財務活動収入	374,065
財務活動支出	61,406
財務活動資金収支差額	312,659
当期資金収支差額計	△98,061
前期末支払資金残高	1,117,152
当期末支払資金残高	1,019,091

注)各数値からは法人内部間の取引は控除されています。

愛のささえ

ご協力ありがとうございました

平成24年4月1日から平成24年7月31日までの方々を掲載させていただきました。

【本部】

- (寄付・寄贈) 渡辺冷凍食品(株) ヤマシタコーポレーション 福井営業所 酒井設備(株) 轟産業(株) (株)リカーシヨップ沖 シグマサービス (株)タナックス (株)アコス データシステム(株) 福井キャンソンス務機(株) (有)内田精肉店 高橋金蔵商店 (有)けんこーや 藤島電気工事(株) パルティール (株)ハヤカワ (有)エフオーシステム (株)福井建材社 あきあかね山田寿寛

【足羽東保育園】

(ボランティア・交流・訪問)

- 文殊苑 上文殊公民館 上文殊駐在所 上文殊幼稚園 上文殊小学校 宮川定幸 吉村桂 梅田京優華 清水智子 木下真規子 大貫雅奈 寺坂康平 中村直人 伊藤潤 尾崎栄紀 斉藤妃蘭莉 松本貴子 西口康士 加藤翔太 白崎寿美枝

(研修・実習・見学) 橋本日和 鈴木菜奈

【足羽学園・足羽更生園】

(寄付・寄贈)

- 福山医院 渡辺冷凍食品(株) (ボランティア・交流・訪問) スランの会 美山中学吹奏楽部 日産労連 酒生地区運動会 クールエス ティック 福井 キリスト教婦人会 連合福井福井地域協議会 藤巳井玲子 小林登代子 近藤善勝 田

中恵子 澤ゆみこ 山本和由 西田ふみや 中谷まゆみ 斉藤紀子 大野志保子 堀忠夫 片山千代栄 梅田正 大杉キクエ 坪川真弓 大関洋平 黒木涼介 朝倉稔勝 谷川夏樹 小澤晋 杉森妙子 杉原幸司 豊岡紀子 新町ふさ江 前川ともこ 小林順子 伊戸桂子 坂井洋子 江川麗子 増田花子 高山ヒロコ 刀上優歩 橋詰弘志 清水悠馬 大杉強 大島典子 冨田つや子 辻哲明 森下晴代 嘉門千里 仲下紗貴

【足羽ワークセンター】

(寄付・寄贈)

- 福井県社会福祉協議会 (株)カワグチ (株)窪田プラスチック 渡辺冷凍食品(株) (株)福井建材社 (株)鳥山楽器 竹内大策 大島早泰子 絹谷和子 (ボランティア・交流・訪問) 高村智子 松原智子 畑節代 大島早泰子 大澤芳江

(研修・実習・見学) 福井県立福井南養護学校 福井県立嶺北養護学校 福井県医療福祉専門学校 仁愛女子短期大学 大原スポーツ医療保育福祉専門学校

【足羽利生苑】

(寄付・寄贈)

- 南山堂薬局福井本店 吉中鍼灸院 (ボランティア・交流・訪問) 福井市赤十字奉仕団 松宮あさ子 児玉美子 丸山グループ まーまれーど美容室 宇都宮友美 美容室 倶楽部浜田 本田幸雄 白崎弘 屋敷千恵子 梯洋枝 宮浦幸子 オカリーナポルテ 定兼紘子 北野竜神 太鼓 よさこい咲恋う組 (株)カワグチ 美山そば元気の会 乗竹洋子 笠松博 岡林郁美 網田香織 谷口知愛 宮本佳小里 浦山ゆかり 三好健斗 宮本恵介 坂本幸子

(研修・実習・見学) キャリアネットワーク(株) 福井県医療福祉専門学校 大原スポーツ医療保育福祉専門学校 福井県警察学校 楽家(喜代寛子) グループホーム宝珠の郷(前塚博美) 小規模多機能型

居宅介護支援事業所いどり三郎丸(吉村淳子) 福井農林高等学校 啓新高等学校 順不同・敬称略

編集後記

●今回も無事記事を書き終えることができ、ホッとしています。そして、大好きな夏が終わわり…紅葉の秋といえ、私の誕生日!! 大島(保)

●福井マラソンに向けて、ぼちぼちトレーニングに励みます☆ 江上(学)

●初めて編集に携わることができ、うれしいです。 野坂(学)

●今年の実習生は平成5年生まれ！自分が小学生の頃か…羨ましい☆ 宮下(重)

●秋が近づくにつれ、田舎に住む私にとってはカメムシと戦う日々の始まりです… 長田(ワ)

●夏の思い出…あまりなかったです。 吉野(ワ)

●結局、今年も海も行かず夏を満喫しないまま終わりました…子どもは夏中カゼをひいていたし… 金崎(愛)

発行所
社会福祉法人 足羽福祉会
足羽東保育園・足羽学園
足羽更生園・足羽ワークセンター
愛全園・足羽利生苑
〒910-2178 福井市榎野町20-7
TEL(0776)41-3108/FAX(0776)41-3199
http://www.asuwafukushikai.jp/
発行責任者 高村昌裕

●暑い夏！子どもといっしょに日焼け…この歳での日焼け、そばかす・シミがみのりの秋に(泣) 栗波(愛)

●皆さんのご協力もあり、記事を完成させることができ、本当に感謝しております。ありがとうございます！ 本田(利)

●本格的にジムに通い始めました！めざせ！ビューティー&体脂肪減少☆ 前田(利)

●夏の終わりとともに虫の音が美しくなっていくこの頃、みのりの秋到来を感じます。 川縁(本)

●「実るほど頭を垂れる稲穂かな」謙虚な心もち「思いやりを形に」できる人へと成長していきたいと想います。 安田(本)

※誌面の写真・氏名についてはご本人(または法定代理人)の同意を得て掲載しています。